

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100948
事業所名	グループホーム フレンズハウス七反野

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	ホーム周囲の散歩を日課とし、地域の人と気軽に挨拶を交わしている。町内会に加入し、管理者は月1回開催される町内会定例会に参加し、情報交換に努めている。学区の運動会や盆踊り等地域の行事に参加している。地域の方から「ひな人形」提供の申し出があり、2階リビングに飾られている。消防団や交番とは協力体制を確認しており、こども110番も受託している。依頼があれば専門学校や高校のヘルパー実習を受け入れている。港区東部いきいき支援センター開催の家族教室で職員が「認知症ケア」講座の講師を務めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	いきいき支援センターの主任介護支援専門員の協力が2回得られ、町内会長、福祉事業関係者、入居者、管理者が参加し年に6回開催している。会議では入居者の現況、行事内容、研修報告等を行っている。東日本大震災を受け、繰り返し災害への情報や意見の交換をし、入居者を1階から2階へ誘導する避難訓練を実施した。また地域の協力の必要性も話題にしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	区へは生活保護者の報告で訪問している。港区事業者連絡会や年1回の認知症専門部会に参加し、区役所職員と情報交換しており、何かあれば相談できる関係にある。年1回開催の「介護フェア」では、持ち回りで企画の段階から携わり、参加者に介護に関する情報提供を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	年1回法人家族会が開催されるが参加はなく、玄関の意見箱の利用もない。家族の訪問回数にはばらつきがあるが、面会時には積極的に声をかけ、状況を伝えながらコミュニケーションを図り、意見や要望を気軽に話してもらえそうな雰囲気づくりに努めている。また、介護計画の見直し時には電話で意見を伺っている。排泄介助の成果が出た家族より喜びの声があり、職員の励みにもなっている。2カ月毎に発行される「フレンズ通信」は多くの写真で埋め尽くされ、ホームでの様子、表情、暮らしぶりを知ることができ、家族へ郵送されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。